

第105期 第2四半期

株 主 通 信

2018年4月1日～2018年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期における国内経済は、企業収益が堅調に推移する中、設備投資の緩やかな増加や雇用環境の改善などを背景に回復基調が継続しました。海外経済では、米国経済が良好な雇用情勢に基づく個人消費の改善を背景に堅調に推移する一方で、海外諸国の保護主義政策による貿易摩擦の懸念など不確実性が高まり、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、主力のバルブ事業及び伸銅品事業において増収となり、連結売上高は前年同期比13.7%増の677億81百万円となりました。損益面においても、営業利益は前年同期比34.7%増の58億13百万円、経常利益は前年同期比42.7%増の57億88百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比48.6%増の39億26百万円となり、増収増益を達成することができました。

なお、当第2四半期の配当金は、1株につき8円とさせていただきます。

当期は、「第3期中期経営計画」の最終年度となります。長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」の達成に向けて、グループ一丸となって経営計画の達成を目指してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長 堀田 康之



製品紹介

ポリサルフォン中空糸膜

2016年にキッツグループに入った韓国のフィルターメーカー、Filcore Co., Ltd.(フィルコア)が製造・販売しているポリサルフォン中空糸膜。重力だけで水を濾過して飲料水にする高い水透過率と異物除去力により、自重式レジャー用、家庭用及び商業用の浄水器に使用されています。

さらに、独自に開発したウイルス除去技術を付加することで、医療分野にもその領域を広げています。



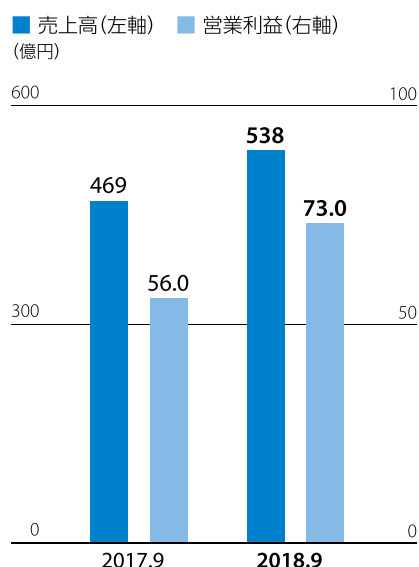
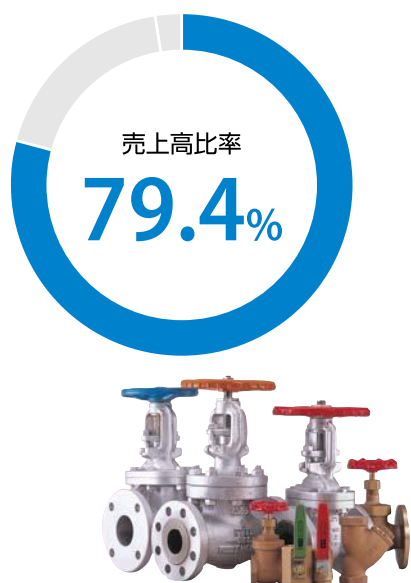
Filcore Co., Ltd.

浄水器用、アルカリイオン水器用及びトイレビデ用フィルターの製造・販売

当第2四半期の概要

セグメント別売上高・営業利益

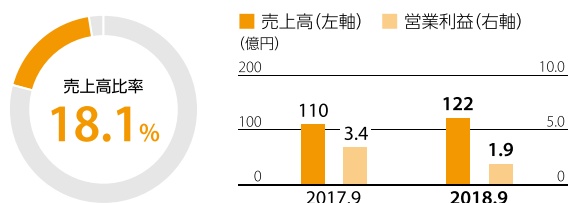
● バルブ事業



国内市場は、半導体製造設備向け及び建築設備向けが好調を維持しました。海外市場も、アジア向けで半導体製造設備向けが好調に推移し、米州向けも増収となった他、中東向け大型プロジェクトへの納入などにより、売上高は前年同期比14.7%増の538億44百万円となりました。営業利益は、半導体製造設備向けの増収と製造コストの削減に加え、国内において価格改定を実施したことなどにより、前年同期比30.3%増の73億6百万円となりました。

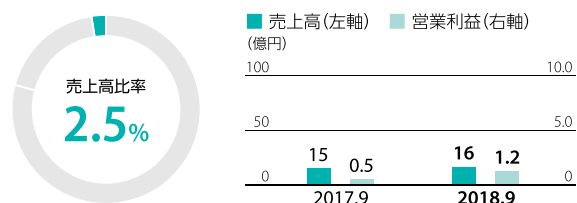
● 伸銅品事業

原材料相場の上昇に伴う販売価格の上昇などにより、売上高は前年同期比10.8%増の122億37百万円となりました。原材料相場変動の影響などにより、営業利益は、前年同期比44.1%減の1億91百万円となりました。



● その他

ホテル事業で国内の団体宿泊客の増加などがあり、売上高は前年同期比6.6%増の16億98百万円、営業利益は、前年同期比114.5%増の1億20百万円となりました。



第3期中期経営計画(2016～2018年度)の数値目標 (2016年5月策定)

	2016年度		2017年度		2018年度	
	中期経営計画 (2016年5月公表)	実績	中期経営計画 (2016年5月公表)	実績	中期経営計画 (2016年5月公表)	経営計画 (2018年10月修正)※
売上高	▶ 1,115億円	▶ 1,141億円	▶ 1,150億円	▶ 1,245億円	▶ 1,200億円	▶ 1,320億円
営業利益	▶ 80億円	▶ 89億円	▶ 90億円	▶ 101億円	▶ 100億円	▶ 112億円
経常利益	▶ 77億円	▶ 87億円	▶ 87億円	▶ 97億円	▶ 97億円	▶ 109億円
親会社株主に帰属する当期純利益	▶ 50億円	▶ 54億円	▶ 57億円	▶ 65億円	▶ 63億円	▶ 71億円
営業利益率	▶ 7.2%	▶ 7.8%	▶ 7.8%	▶ 8.1%	▶ 8.3%	▶ 8.5%
海外売上高比率	▶ 31.8%	▶ 29.7%	▶ 32.7%	▶ 27.9%	▶ 34.2%	▶ 29.8%
ROE	▶ 6.6%	▶ 7.3%	▶ 7.2%	▶ 8.7%	▶ 7.7%	▶ 9.1%
自己資本比率	▶ 63.9%	▶ 61.9%	▶ 64.7%	▶ 56.8%	▶ 64.0%	▶ 58.8%

セグメント別売上高

バルブ事業	▶ 920億円	▶ 917億円	▶ 950億円	▶ 981億円	▶ 1,000億円	▶ 1,050億円
伸銅品事業	▶ 164億円	▶ 193億円	▶ 165億円	▶ 235億円	▶ 165億円	▶ 240億円
その他	▶ 31億円	▶ 30億円	▶ 35億円	▶ 28億円	▶ 35億円	▶ 30億円

セグメント別営業利益

バルブ事業	▶ 110億円	▶ 114億円	▶ 119億円	▶ 127億円	▶ 131億円	▶ 143億円
伸銅品事業	▶ 2億円	▶ 8億円	▶ 3億円	▶ 6億円	▶ 1億円	▶ 4億円
その他	▶ 1億円	▶ 0.5億円	▶ 1億円	▶ △0.2億円	▶ 1億円	▶ 0.5億円

※セグメント別営業利益の数値を2018年10月に見直しております。

KITZ (Thailand) Ltd. 創業30周年



タイのグループ会社KITZ (Thailand) Ltd.は、2018年9月に創業30周年を迎えました。同社は、1988年9月の創業以来、青銅・黄銅製バルブを日本及び世界市場に供給する製造拠点として重要な役割を担っています。

1998年にISO9002の認証を取得、2001年には新工場を建設して新たにバタフライバルブの製造を開始し、長きにわたりキッツグループの成長に貢献してまいりました。

同社は、2017年9月に新設した技術部と、近隣に所在するグループ会社KITZ Valve & Actuation (Thailand) Co., Ltd.の持つ販売機能を合わせ、製造・販売・技術を一体化することにより、様々な市場ニーズに応えられる製品の開発やサービスを提供できる体制を整えました。今後も、世界のお客様のご要望に的確かつ迅速に対応してまいります。

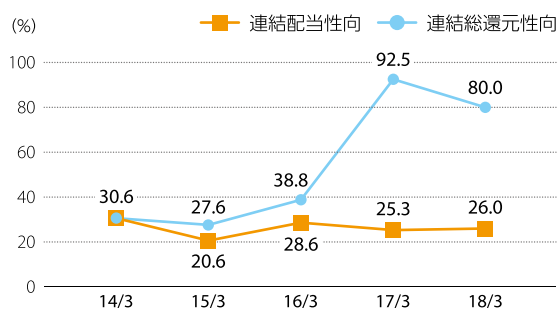


KITZ (Thailand) Ltd.で製造している製品

自己株式の取得

第3期中期経営計画の基本方針に従い、2018年8月から9月にかけて、200万株の自己株式を取得しました。2016年度には547万93百株、2017年度には406万3百株の自己株式を取得しています。

キッツでは、現金配当による目標連結配当性向25%に加え、自己株式の取得にさらに積極的に取り組み、株主の皆様への利益還元をより一層充実させてまいります。



社会貢献活動

キッツはVC長野トライデンツを応援しています

キッツは、社会貢献活動の一環として、事業所の所在する地域の子どもの育成に力を入れている地元のプロスポーツチームを支援しており、今年度より、新たにバレーボールV1リーグのVC長野トライデンツ(長野県上伊那郡)とユニフォームスポンサー契約を締結しました。

2018-19シーズンの試合において、公式ユニフォームの背中(裾)に「KITZ」のロゴが掲出されています。VC長野トライデンツは、本シーズンより最高峰のV1リーグに昇格しました。キッツは地元企業として、VC長野トライデンツを応援してまいります。



個人投資家向けに会社説明会を実施

2018年8月18日、東京都内で開催された、SMBC日興証券と日興アイ・アールが共同運営する「SMBC日興IRフォーラム2018summer」において、個人投資家に向けて会社説明会を実施しました。キッツはこのイベントに継続して参加しており、今年で4回目となります。

説明会には、262名の個人投資家の皆様にご参加いただき、IR部門の責任者である栗原 等執行役員経営企画本部長が「キッツの強みと成長戦略」について説明を行いました。また、出展社コーナーには、株主優待の現物、製品やパネル等を展示し、ブースを訪れた方々からの質問にお答えしました。



広告看板のデザインをリニューアル

JR東京駅、JR海浜幕張駅及びJR上諏訪駅に設置している広告看板をリニューアルしました。

新デザインは、子どもがバルブをのぞき、「明るい未来」を見ているイメージを表現したものです。バルブからは、「バルブでつなぐ先は、未来。」のキャッチコピーが青空に向かって伸びています。「明るい未来・希望の象徴」としてモデルに子どもを起用。明るい未来のために欠かせないものとして「バルブ」があり、「キッツは社会に必要な不可欠な企業でありたい」というメッセージを込めています。



株主優待のご案内

株主の皆様からのご支援に対する感謝の気持ちを込めて、株主優待を実施しています（3月末現在、保有株式数1,000株以上の株主様が対象）。

● オリジナルクオカード

1,000株以上	1,000円券	1枚
2,000株以上	2,000円券	1枚
3,000株以上	3,000円券	1枚



● グループ会社優待券

キッツグループの商品・サービスより、家庭用浄水器及びホテルの各種優待券をご用意しています。

また、キッツが社会貢献活動の一環として、その活動を支援している北澤美術館の招待券を進呈しています。



家庭用浄水器「ビュリフリー」

● 北澤美術館 ガラス工芸品カレンダー 1部



● 長期保有株主優待

2018年3月末現在、5年以上かつ1,000株以上を保有されている株主様につきましては、従来からの優待に加え、北澤美術館 日本画カレンダーの大判サイズまたは卓上サイズ、「平成28年熊本地震災害義援金」への寄付よりいずれか1点をお選びいただけます。

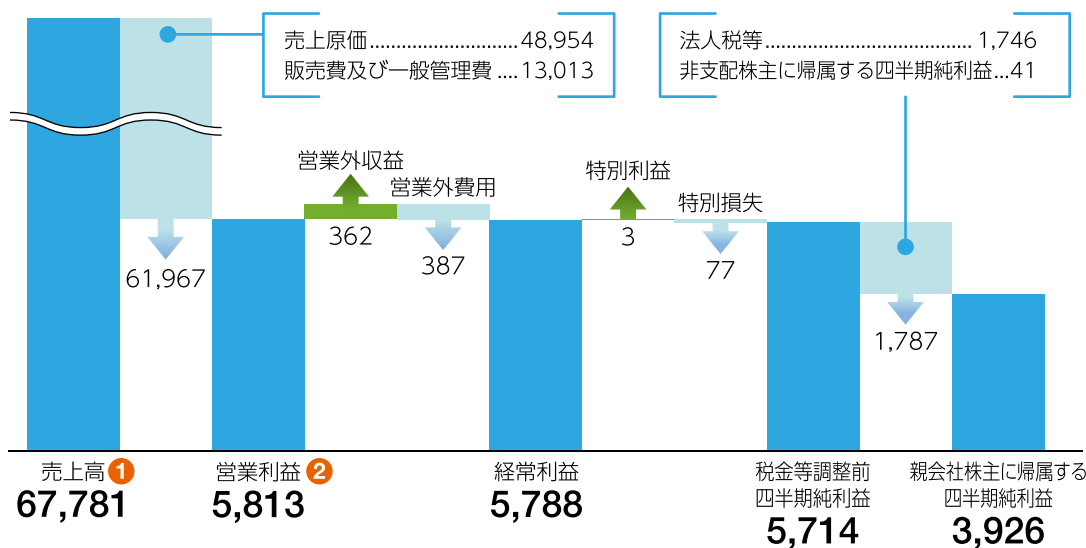
● 新規株主様への優待

9月末までに、新規で1,000株以上保有された株主様に、北澤美術館 ガラス工芸品カレンダーを1部お送りいたします。

連結損益計算書の概要

当第2四半期 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位：百万円)



Point ①

売上高
バルブ事業において、半導体製造設備向けで増収となり、国内建築設備向けも好調を維持しました。伸銅品事業においても、原材料相場の上昇に伴う販売価格の上昇などにより増収となった結果、前年同期比13.7%増の677億81百万円となりました。

Point ②

営業利益
半導体製造設備向けの増収と製造コストの削減に加え、国内において価格改定を実施したことなどにより、前年同期比34.7%増の58億13百万円となりました。

Point ③

総資産
Cephas Pipelines Corp.を買収したことなどに伴い、たな卸資産、有形固定資産及びのれんが増加した他、基幹システム投資により無形固定資産も増加しましたが、自己株式の取得などにより現金及び預金が増加したこと、前連結会計年度末に比べ7億88百万円減少しました。

Point ④

負債
有利子負債の増加などはありませんでしたが、未払法人税の減少などにより、前連結会計年度末に比べ1億67百万円減少しました。

Point ⑤

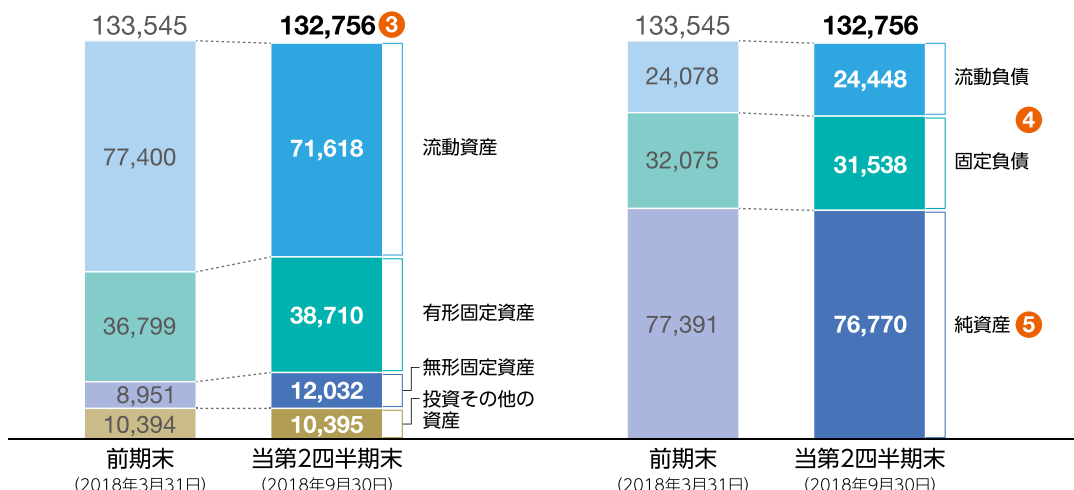
純資産
親会社株主に帰属する四半期純利益39億26百万円の計上はありましたが、配当金の支払いや自己株式の取得の他、為替換算調整勘定の減少などにより、前連結会計年度末に比べ6億21百万円減少しました。

連結貸借対照表の概要

資産の部

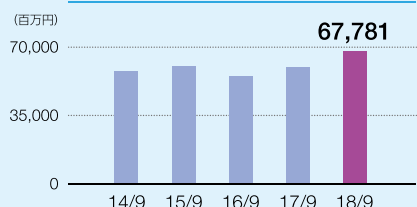
負債・純資産の部

(単位：百万円)



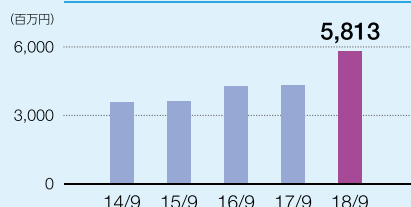
主要連結財務指標の推移

売上高



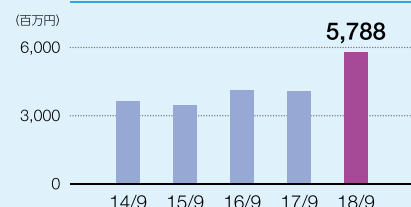
前年同期比 81 億 89 百万円 増

営業利益



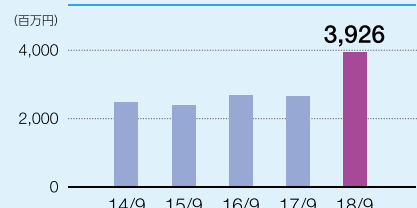
前年同期比 14 億 98 百万円 増

経常利益



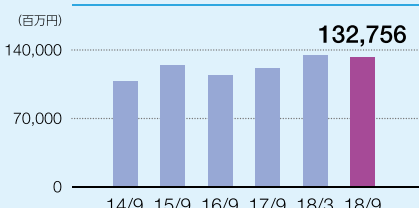
前年同期比 17 億 31 百万円 増

親会社株主に帰属する四半期純利益



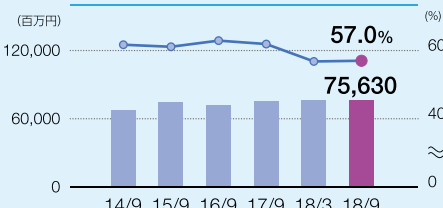
前年同期比 12 億 85 百万円 増

総資産



前期末比 7 億 88 百万円 減

自己資本／自己資本比率



前期末比 5 億 86 百万円 減

前期末比 0.1 ポイント 減

※本株主通信中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

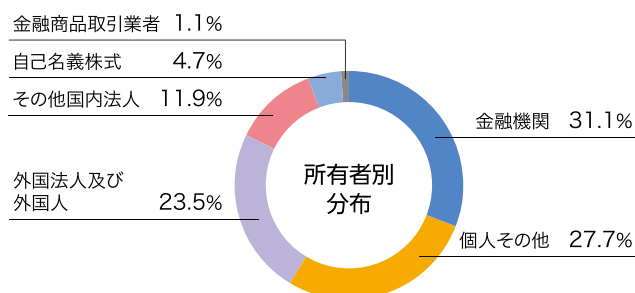
- 発行可能株式総数 400,000,000株
- 発行済株式の総数 95,671,768株

(注) 上記の発行済株式の総数には、当社が2018年9月30日に保有する自己株式4,724,743株を含めておりません。

- 株主数 9,958名
- 大株主(上位10位)

株主名	当社への出資状況 持株数(千株) 持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	9,032 9.44
北沢会持株会	4,348 4.55
日本生命保険相互会社	4,303 4.50
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	3,468 3.63
住友生命保険相互会社	3,418 3.57
公益財団法人北澤育英会	3,411 3.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,185 3.33
キッツ取引先持株会	2,990 3.13
GOVERNMENT OF NORWAY	2,784 2.91
株式会社三井住友銀行	2,553 2.67

- (注) 1. 当社は、2018年9月30日現在、自己株式4,724千株を保有しており、上記大株主から除外しております。また、持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。なお、当社は、「役員報酬BIP信託」を採用しており、日本マスタートラスト信託銀行(株)が当社株式329千株を保有しておりますが、当該自己株式には含めておりません。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 9,032千株
日本マスタートラスト信託銀行(株) 3,185千株
3. 住友生命保険(相)の持株数には、変額口2千株及び特別勘定5千株を含んでおります。



中間配当金のお支払について

2018年10月30日開催の当社取締役会におきまして、第105期の中間配当金について、以下の通り決議されております。

中間配当金:1株につき 金8円

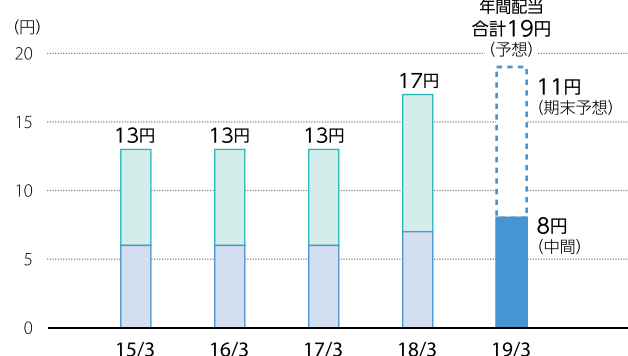
効力発生日ならびに支払開始日:2018年12月6日(木)

同封の「第105期中間配当金領収書」により、払渡しの期間(2018年12月6日～2019年1月7日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第105期中間配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

配当方針

キッツは、配当金を、株主の皆様への利益還元として経営上の重要課題と位置付けており、配当性向につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益の25%前後を望ましい水準と考えています。また、連結総還元性向については、従来、親会社株主に帰属する当期純利益の3分の1前後を目指してまいりましたが、「第3期中期経営計画」において、自己株式の取得にさらに積極的に取り組み、株主の皆様への利益還元をより一層充実させる方針を掲げております。

1株当たりの年間配当金



株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 公告掲載方法 電子公告
公告掲載URL (<https://www.kitz.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社概要 (2018年9月30日現在)

- 商号 株式会社キッツ
- 本社 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1
TEL (043)299-0111(大代表)
- 代表者 代表取締役社長 堀田 康之
- 資本金 21,207,084,670円
- 設立年月日 1951年1月26日
- 従業員数 (単体)1,322名 (連結)4,939名

ウェブサイトのご案内

企業情報の他、決算情報や財務データなどを掲載しています。



<https://www.kitz.co.jp/>

